

ウルグアイ経済報告（2月分）

【概況】

- 2月の消費者物価指数（対前年同月比）は9.12%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料、住居、家具・家庭用品、福祉の分野では2桁、それ以外の分野では1桁台の増加であった。
- 2月の対ドル為替レートは平均42.73ペソと、前月比1.06%のペソ安となった。
- 2月の輸出額は690百万米ドル、前年同月比は17.6%増となった。牛肉副産品、小麦、乳製品、木材、セルロース、マーガリン・油、その他食料品、自動車の輸出が好調であった一方でコメ、電力、魚・水産品、炭酸飲料原料の輸出は減少した。
- 2月の輸出額第1位は牛肉で、輸出額は134百万米ドル（前年同月比1%増）となった。中国への輸出が増加した一方でオランダへの輸出は前年同月に比べ40%減となった。同2位はセルロースで、輸出額は103百万米ドル（前年同月比9%増）となった。同3位は炭酸飲料原料で、輸出額は47百万米ドル（前年同月比2%減）となった。ブラジル及びメキシコへの輸出は減少したが、エルサルバドルへの輸出は2倍近く増加した。同4位は乳製品でブラジル及び中国への大幅な輸出増加に伴い輸出額は45百万米ドル（前年同月比31%増）となった。品目別では粉乳の輸出が前年同月に比べ39%増加した。同5位は種、採油植物、麦芽エキス、カカオ、イースト、小麦粉、砂糖等を含むその他食品で、輸出額は前年同月の約2.5倍に相当する41百万米ドル（前年同月比143%増）となった。特にセイヨウアブラナの種の輸出は大幅に増加した（前年同月の10百万米ドルから29百万米ドルに増加）。
- 輸出が好調であったのが、牛肉副産品、小麦、木材、マーガリン・油、自動車、麦芽である。牛肉副産品は中国及びスペインへの輸出増加に伴い輸出額は35百万米ドル（前年同月比76%増）となった。特に前年同月は2百万米ドルであった香港への輸出額は10百万米ドルまで増加した。小麦の輸出はブラジルへの輸出増加に伴い輸出額は21百万米ドル（前年同月比102%増）となった。また価格についても前年同月に比べ20%上昇した。輸出額第6位の木材は中国への輸出増加に伴い輸出額は40百万米ドル（前年同月比35%増）となった。また米国への輸出も前年同月に比べ増加した。マーガリン・油は、ブラジルへの輸出増加及びフランス、中国への輸出開始に伴い輸出額は16百万米ドル（前年同月比102%増）となった。自動車の輸出はブラジルへの商品運送用車両の輸出増加に伴い輸出額は13百万米ドル（前年同月比101%増）となった。また、麦芽もブラジルへの輸出増加に

に伴い輸出額は14百万米ドル（前年同月比55%増）となった。

●輸出が不調であったのがコメ、電力である。コメの輸出はペルー、ブラジル、トルコ、コスタリカへの輸出量減少及びセネガルへの輸出がなかったことに伴い14百万米ドル（前年同月比53%減）となった。一方、前年同月には輸出がなかったメキシコへは1百万米ドルの輸出があった。電力はブラジルへの輸出が前年同月に比べ約20%減少したことに伴い輸出額は14百万米ドル（前年同月比8%減）となった。

●2月の主要輸出先を見ると、第1位は先月に引き続き中国で輸出額は122百万米ドル（輸出全体の25%）であった。牛肉の輸出増加に伴い前年同月比は79%増となった。同2位はブラジルで、輸出額は111百万米ドル（輸出全体の23%、前年同月比50%増）となった。牛乳、自動車、麦芽、大麦の輸出が増加した一方で、コメ及びチーズの輸出は減少した。同3位はEUで、輸出額は60百万米ドル（前年同月比12%減）となった。冷凍・冷蔵牛肉、羊毛、コメの輸出は減少したが、皮の輸出は前年同月に比べ2倍近く増加した。同4位は米国で冷凍牛肉、牛肉副産品の輸出減少に伴い輸出額は34百万米ドル（前年同月比4%減）となった。一方、木材の輸出は大幅に増加した。同5位はアルゼンチンで麦芽及び医薬品の輸出増加に伴い輸出額は前年同月に比べ10%増加した。

（出典：ウルグアイ21（ウルグアイ貿易投資促進庁））

【トピック】

1 アブド・ベニテス・パラグアイ大統領訪問

2月17日、ラカジェ・ポウ大統領はマルドナド県プンタ・デル・エステの大統領公邸にてアブド・ベニテス・パラグアイ大統領と会合した。ブスティージョ外務大臣も同席した同会合にて両国首脳は二国間の主要テーマに関し議論し、穀物や肉をはじめとするパラグアイ産品の輸出や右輸出産品輸送の上でのウルグアイ川及びラ・プラタ川の重要性に関しても言及された。また、ラカジェ・ポウ大統領はメルコスールに関し「パラグアイはウルグアイと同じく世界に向け市場を開放しようとしている。世界は我々のコモディティ、原料に対して開かれており、我々は右を提供する準備がある。その他地域の国々と同等の条件で世界市場で競争していくためには、メルコスールの世界への参入は極めて重要である」と述べた。なお、ラカジェ・ポウ大統領は、今次会合は非公式であり追って外相レベルでの会合を正式に実施すると説明した。

2 国外市場への参入に関する協議実施

(1) 国外市場への参入戦略会議の実施

2月11日、外務省にてブスティーゴ外務大臣、ウリアルテ農牧水産大臣による国外市場への参入戦略会議が開催された。同会議にはマツス・ウルグアイ食肉協会（INAC）会長及び外務省、農牧水産省関係者が出席し、国外市場参入に関する現状分析や今後の可能性に関し協議された。出席者は定期的にこのような会合の機会を設け、短期・中長期的目標を定めた上で適切な戦略を決定していくことで一致した。

(2) ウルグアイ 21 戦略計画に関する協議

2月26日、ブスティーゴ外務大臣の主催により、ウルグアイ 21（ウルグアイ貿易投資促進庁）の2020年～2025年の戦略計画に関する協議が実施された。同会合にはアルベレチェ経済財務大臣、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣、アルフィ大統領府予算企画庁長官、ウリアルテ農牧水産大臣、モンセグリオ観光次官、ミラー・ウルグアイ 21 事務局長が出席し、同戦略計画に基づく活動や国内の各経済セクターとの関係及び輸出、直接投資獲得、雇用創出への影響に関する分析が行われた。

(3) ウルグアイ産品の輸出に関する協議

2月12日及び26日、ブスティーゴ外務大臣はアルベレチェ経済財務大臣と会合し、両省関係者同席のもと、ウルグアイ産品の様々な市場への輸出に関し協議した。

3 アルベレチェ経済財務大臣による経済政策及び経済見通しに関する説明

(1) マクロ経済評価と見通しに関する記者会見

2月8日、アルベレチェ経済財務大臣は記者会見にてウルグアイのマクロ経済の評価と見通しに関し説明した。アルベレチェ大臣は、2020年、政府は新型コロナウイルス感染症対策にGDPの2.3%に相当する1,217百万米ドルを費やした旨発表した。またパンデミックによる困難な状況にも関わらず政府は予算案の内容を厳守し増税を実施しなかった点を強調した。なお、2021年については引き続きパンデミックへの対応が必要であるが、パンデミックの影響を考慮した米連邦準備理事会の政策の結果、国際金利が低く抑えられていること、米国、ユーロ圏、アルゼンチン、ブラジルでの成長が予見されること、コモディティの価格に改善が見られること等、対外的にも良い兆候が予測されており、再び成長が期待されると述べた。

(2) 経済政策に関する議会でのプレゼンテーション

2月24日、アルベレチェ経済財務大臣はアルフィ大統領府予算企画庁長官、ラバット中央銀行総裁等の経済関係者と共に、議会にて経済政策に関するプレゼンテーションを実施した。右プレゼンテーションにてアルベレチェ大臣は、ウルグアイ国民の多くが変化を望んでいる現状において、現政権における経済チームは前政権の経済政策とは異なる政策を進めることに迷いはないと説明し、主な変化として金融政策・財政政策・歳入政策における変化、前政権下で失われた信用回復に向けた変化、チームの責任及び透明性に関する変化を挙げた。また、最終的な目標として財政上の数値達成のみを優先するのではなく、国民を守ることを念頭に、持続的且つ最も支援を必要とする国民に行き渡る社会政策実施に向け全ての国民の資産を守っていくべきであると述べた。

4 グローバル債発行の検討

2月9日、経済財務省債務局は、ウルグアイ・ペソ建て債券市場を強化すると同時に、現地通貨建て新興国債の主要な指標とされるJPモルガンGBI-EM指数上でウルグアイ・ペソの安定を維持する目的で、政府は2021年にペソ建てグローバル債の発行を検討している旨発表した。

5 経済見通し

ラテンアメリカ Focus Economics Consensus Forecast が1月にコンサルタント企業、銀行21社を対象に実施した調査によると、2021年のウルグアイのGDP成長予測は3.5%（昨年12月の時点での予測は3.8%）、2022年については2.7%となった。なお対米ドル為替レート予測は2021年末については44.70ペソ、2022年末は47.10ペソとなった。

6 自動車販売台数

自動車販売協会（ACAU）の発表によると2020年の新車販売台数は36,397台（対前年比14%減）であり、2020年は自動車業界にとって最も厳しい年の1つとなった。一方、2021年1月の新車販売台数は3,732台（対前年比20.7%増）と、3ヵ月連続で増加を記録した。右傾向に関しACAUは最近の米ドル安定が新車購入を促進していると分析している。

7 製造業生産活動指数

国家統計院（INE）の発表によると、2020年の国営燃料公社（Ancap）を除いた場合製造業

生産活動指数（IVF）は対前年比で 4.8%減となり、製造業は 6 年連続で落ち込みを記録した。
なお、Ancap、UPM 社、モンテス・デル・プラタ社及びペプシ社を除いた場合のコア製造業生産活動指数は対前年比で 6.3%減となった。

主な経済指標

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
消費者物価指数(%)	9.79	9.92	9.74	9.59	9.41	8.89	9.12
失業率(%)	10.80	11.00	11.20	10.90	10.50	10.70	11.1
平均賃金指数(%)	7.71	7.74	7.75	7.76	7.75	6.33	6.20
対ドル為替(ペソ)(平均)	42.66	42.49	42.68	42.72	42.39	42.28	42.73
新車売上台数(台)	3,398	3,396	3,477	4,281	4,847	3,732	3,757

出所：国家統計院(INE)、ウルグアイ自動車販売協会(ACAU)

消費者物価指数

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全体	9.79	9.92	9.74	9.59	9.41	8.89	9.12
食品・ノンアルコール飲料	12.88	13.50	12.49	10.50	9.48	9.98	10.23
アルコール飲料・タバコ	9.71	10.39	10.56	10.35	10.43	8.83	9.23
衣服・靴	4.84	4.87	6.33	7.10	6.69	6.35	6.21
住宅	7.77	7.84	8.02	10.31	11.53	10.69	10.85
家具・家庭用品	10.64	10.62	10.81	10.96	12.13	12.44	12.30
保健	10.12	9.69	9.87	10.10	10.22	9.26	10.03
運輸	6.42	5.28	4.89	5.98	6.20	5.86	6.33
通信	7.37	7.07	7.11	7.06	7.00	8.86	8.84
娯楽・文化	13.63	14.21	14.86	14.33	13.79	8.54	8.78
教育	5.46	6.19	6.59	6.38	6.19	6.13	5.39
レストラン・ホテル	8.26	8.42	8.17	7.53	6.49	5.81	5.63
その他の財・サービス	10.22	10.20	9.74	9.96	10.01	8.91	9.92

出所：国家統計院(INE)

貿易統計

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
輸出	額(百万ドル)	629	672	641	618	659	627	605
	前年同月比(%)	-17.2	-4.0	-1.0	-2.5	0.0	12.6	16.6
	1月からの累計 (百万ドル)	4,444	5,086	5,701	6,286	6,952	627	1210
	前年同期比(%)	-13.9	-12.6	-11.5	-10.5	-9.8	12.6	20.0
輸入	額(百万ドル)	582	628	629	635	632	551	564
	前年同月比(%)	-9.3	-1.3	-10.1	-10.0	3.9	-3.9	12.5
	1月からの累計 (百万ドル)	4,325	4,915	5,540	6,174	6,805	551	1,114
	前年同期比(%)	-7.5	-7.5	-7.8	-6.3	-5.4	-3.9	3.7

出所：Uruguay XXI(ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値)

製造業指数(%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全体	-6.80	-6.24	-5.10	-5.64	-5.03	-0.28	-0.2
全体(石油精製除く)	-7.95	-7.07	-5.78	-5.36	-4.77	-0.87	
食品・飲料	-7.08	-6.46	-5.47	-5.27	-4.84	-2.64	
食品							-0.9
飲料							-17.9
繊維製品	-33.25	-29.64	-28.06	-27.33	-26.41	-22.70	-17.9
衣服	-31.11	-34.57	-28.44	-30.07	-28.52	83.52	-27.4
皮等	-46.57	-45.19	-42.61	-38.80	-36.68	18.64	6.1
木材及び関連品	-15.01	-12.74	-8.98	-8.39	-7.33	6.09	-2.2
紙等	1.92	1.51	4.11	4.13	4.05	4.87	0.9
製本	-28.28	-26.77	-25.06	-23.53	-22.23	-8.23	-16.0
石油派製品等	-1.21	-2.17	-1.73	-7.00	-6.32	2.15	-5.7
化学品	-0.95	0.17	0.31	0.24	0.92	-0.63	
化学品(医薬品を除く)							14.5
医薬品							-4.7
皮・プラスチック製品	-8.83	-7.90	-5.60	-3.35	-4.06	10.54	28.1
金属鉱物	-6.55	-4.29	-2.65	-2.55	-3.29	-10.53	-4.5
礎金属	-13.89	-7.94	-7.13	-6.93	-1.51	-22.80	-11.9
金属・機械・機器	-0.99	2.07	0.74	1.83	1.86	5.52	
金属製品(機械を除く)							1.8
電子機器以外の機械	-4.49	-0.36	2.80	0.29	1.08	28.53	
電子機器・機械	-21.25	-18.48	-18.76	-17.52	-15.74	-14.00	
医療機器等	-31.35	-33.62	-34.42	-33.44	-31.44	-34.78	
電子・情報・光学製品							-47.2
電子機器							-2.9
機械・設備							1.9
自動車等	-42.45	-43.80	-41.38	-38.93	-37.53	-34.61	-0.3
その他輸送機器	-0.54	-0.29	-1.42	-4.93	-6.37	8.86	
家具等	-6.86	-2.13	0.05	0.73	1.40	-6.18	-5.6
その他製造業							16.0
機械設備修理							-21.1

出所：国家統計院(INE)

(2021年2月以降項目に変更があったため、2月分の数値については項目が異なっている。)

(了)